

名古屋地方気象台長

松 村 崇 行 様

## 要 望 書

震度情報で用いる地域名称の変更について

令和2年3月

愛知県市長会

愛知県町村会



## 要 望 書

日頃から、災害や防災への対応を始めとする各市町村の行政につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、愛知県内の地震情報で発表する震度が観測された地域の名称は、「東部」及び「西部」の2区分となっております。

この発表の区分では、「東部」の8市町村に対して「西部」が46市町村と極端に多く、面積も広大なものであります。また、「西部」には西三河地域の市町が含まれておりますが、この地域を愛知県西部と表す例は、調査した限りでは承知しておりません。

このため、地震の発生時の速報等において、震度が観測された地域として発表された地域の名称からイメージされる地域と、実際に震度が観測された地域に乖離が生じるケースがあり、平成30年4月14日に愛知県西部を震央として発表された地震（西三河南部地方で最大震度4を観測）の際には、尾張西部地方の市に県外自治体より被害状況確認の問合せが寄せられております。また、震度データベースの震源リストにおいても震央地名が愛知県西部となり、震度データベースを利用する住民が実際の発生地域を誤解する恐れがあります。

こうしたことから、愛知県内の地震情報で発表する震度が観測された地域の名称を、地域の区分として広く社会の各分野で定着し、馴染みのある「尾張」（36市町村）、「西三河」（10市町）、及び「東三河」（8市町村）の3区分に変更して下さるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和2年3月4日

名古屋地方気象台長

松村崇行様

愛知県市長会

会長 碧南市長 瀬戸田 政信

愛知県町村会

会長 大口町長 鈴木 雅博